

I 調査票

1 物を取扱う場合は、製造、建設、機械据付けと修理の別、卸売と小売の別などはっきり区別します。物を製造する場合は、製品名を原材料名・加工の仕方、用途がわかるようにします。(p.9)

4 この項目のみ、本社、本店、支店、営業所、工場（国内に限る）など、すべて含んだ企業全体の常用労働者数です。(p.3~4参照) ※他の項目は、企業全体ではなく、事業所の常用労働者が対象となりますので、ご注意ください。(p.11)

2 労働者によって調査期間が異なるときは、最も労働者の多い調査期間となります。(p.9)

様式第1号（第9条関係）

1 主要な生産品又は事業の内容は何ですか。
（主要なものとは、総収入の最も多いものです。）
自動車部品（ブレーキパッド）製造

2 調査期間はいつからいつまででしたか。（前月の最終給与締切日の翌日から、本月の最終給与締切日までの1か月間です。）
×月**16**日から○月**15**日まで

3 調査期間中に事業活動を行った日数は何日でしたか。
20日

4 企業の全常用労働者数は何人ですか。該当の番号を○で囲んでください。（貴企業（同一会社）に属する事業所のすべてに雇用される常用労働者数です。）
 1,000人以上 (4) 30~99人
 (2) 300~999人 (5) 5~29人
 (3) 100~299人

5 常用労働者には、ごく短期間しか勤めない臨時のアルバイト以外は、ほとんどの労働者が含まれます。(p.4)

常用労働者についてお答えください。常用労働者とは、期間を定めず、又は1か月以上の期間を定めて雇われている者、事業主又は法人の代表者、無給の家族従業員を除きます。
パートタイム労働者とは、常用労働者のうち、1日の所定労働時間が一般の労働者よりも短い者及び1日の所定労働時間が

5(1) 今月から調査票を作成することになった事業所の場合は、調査期間の最初の日の前日の状況です。(p.11)

常用労働者 の性別	5 常用労働者数				6 出勤日数 (5) うち、 パートタイム労働者は 何人でしたか。	7 実労働時間 (1) 所定内労働 時間の合計は延べ 何時間でしたか。	(2) 所 定外の労働 時間の合計は延べ 何時間 でしたか。	
	(1) 前調査 期間の末日 は何人でしたか。	(2) 採用、 転勤等による 増加は何 人でしたか。	(3) 解雇、 退職、転勤 等による減 少は何人 でしたか。	(4) 本調査 期間の末日 は何人 でしたか。				
男	1	70	5	8	67	3	1500	11880
女	2	20	11	1	30	3	620	4840
計	3	90	16	9	97		2120	16720
うち、 パート タイム 労働者	4	5	2	0		6	120	720

◎ 計のうち、パートタイム労働者分について記入してください。

5(2) 前月分では、給与の算定を受けなかったため、労働者数に計上しなかったが、今月から、その理由が解消したため、算定を受けることとなった者も含まれます。(p.12)

5(3) 調査期間の末日付で、退職又は別事業所に異動となった者、今月から給与の算定を受けないことになった者も含まれます。(p.12)

5(5) 就業規則等であらかじめ定められている労働時間が、正社員、正規従業員よりも短い者の人数です。(p.13)

9 変動状況（調査期間中に、次のことがあった場合は、該当事項の数字を○で囲み、右の備考欄にその概略を記入してください。）

<input type="radio"/> 1 定義を実施した。	<input type="radio"/> 4 休日に換業、営業等の事業活動を行った。
<input checked="" type="radio"/> 2 ベースアップを実施した。	<input type="radio"/> 5 制度上の週所定労働時間の短縮を実施した。
<input type="radio"/> 3 操業短縮、一時休業を実施した。	<input type="radio"/> 6 夏休みなど、週休以外の休日を増やした。

10 備考（本月その）
5(5) 1名に褒賞

常用労働者のうちパートタイム労働者に関する欄です。(p.6)

6 労働者が実際に就業した延べの日数です。1時間でも就業すれば1日となります。有給休暇取得分は、給与は支払われても、実際に働いていないので含まれません。(p.13)

9 調査期間中に、該当することがあったか把握する欄です。(p.17~18)

7 労働者が実際に就業した延べの労働時間数です。有給休暇取得分は、給与は支払われても、実際に働いていないので含まれません。所定内労働時間数は、就業規則等であらかじめ定められている就業時間帯に、実際に労働した時間数です。所定外労働時間数は、あらかじめ定められている就業時間帯以外で、実際に労働した時間数です。1時間未満の端数は30分以上を切り上げ、30分未満を切り下げて、記入します。(p.13~14)

5(4) の人数が翌月の調査票の 5(1) の欄に入ります。(p.11,12)

の記入要領早見表

指定書に記載された番号を記入します。
(第二種事業所の場合)

都道府県番号	調査区番号	事業所一連番号
○	△	□

「産業分類番号」「抽出率番号」「事業所規模番号」「企業規模番号」の欄は記入不要です。

8 所得税その他を差し引く前の支払い総額(1,000円単位)です。
1,000円未満の端数は、四捨五入して記入します。(p.17)

統計法に基づく基幹統計調査
毎月勤労統計調査全国調査票 (秘)

令和 年 月 分

厚生労働省

都道府県番号	事業所一連番号	産業分類番号	抽出率番号	※事業所規模番号	※企業規模番号
○	△	□			

をいいます。 ※印欄は記入しないでください。

8(3)「きまって支給する給与」に該当しない給与で、調査期間中に実際に支払われたものです。
次のものが該当します。
①賞与
②定昇・ベースアップの差額追給分
③あらかじめ算定方法が定められていても、算定期間が3か月を超えるもの、6か月ごとに支払う通勤手当など
④一時的・突発的な事由で、実際に労働者に支払われたもの (p.17)

が一般の労働者と同じで1週の所定労働日数が一般の労働者よりも少ない者です。

月数 ください)	8 現金給与額 (税込み額です。)			
	時間		百万 千円	
所定外労働 合計は延 期間です	(1) きまって支給する給与の総額はいくらでしたか。(労働協約、就業規則等に支給条件、算定方法等が定められている給与です。)		(2) うち、超過労働給与の総額はいくらでしたか。(残業手当、深夜手当等です。)	
	1500	34208	85520	100087
	310	10275	25688	11121
	1810	44483	4811	111208
	12	1080	23	24463

8(4)① 8(3)欄の「特別に支払われた給与」のうち、賞与に該当するものです。(p.17)

8(4)② 定昇・ベースアップの差額追給分に当月分は含まれません。(p.17)

8(4)④⑤ 賞与、定昇・ベースアップの差額追給分及び算定期間が3か月を超える通勤手当以外で、特別に支払われた給与に計上された手当の名称と金額です。(p.17)

8(4)の①～⑤のいずれかに記入された場合は、必ず8(3)にも計上します。

自分の報告内容と前月分間に著しい差がある場合は、理由を記入してください。

パートタイム労働者から一般労働者更。支給あり。

記入担当者氏名 △ ○ ×

調査票提出年月日 年 月 日

事業所の担当者氏名を記入します。

ります。ます。

8(1) 給与規則、就業規則、労働協約等において、あらかじめ定められている算定方法によって算定される給与のことです。基本給・本俸の他に業績手当、職務手当、奨励加給、超過勤務手当、休日出勤手当、深夜手当、通勤手当なども含まれます。ただし、算定期間が3か月を超えるものは、特別に支払われた給与に含まれます。(p.16)

10 事業内容の変更、大幅な労働者数の変動、賃金の改定、休日の変更、就業形態の変更など、前月分までと、特に違ったことがあれば、留意事項も含めて記入する欄です。その他、留意事項等があれば記入します。(p.18)

8(2) 所定外労働時間の労働に対して算定する給与で、超過勤務手当、休日出勤手当、深夜手当などのことです。(p.16~17)

(注) 超過勤務手当、奨励加給などは1か月又はそれ以上遅れて算定されることがあります。その場合、労働が行われた月ではなく算定された月の給与としても差し支えありません。